

真の「入管法改正」と 難民保護法を求めて

～ すべてのいのちを守るため ～



主イエスも難民だった

7/31 土 14:00～16:00
会場：Zoom

- ✓ ウィシュマさんの死から考える外国人収容とは？
- ✓ 家族で日本に住むのが難しいって、なぜ？

「出入国管理及び難民保護法」(入管法)改定案は、多くの市民の反対の声をうけて廃案となりました。私たちカトリック教会でも、いのちと尊厳を軽んじる法案に反対の声をあげ、弁護士や市民団体と取り組んだ「入管法改悪反対」署名には10万筆以上が集まり廃案にできました。

しかし入管法改悪はとめることができても、人権侵害の温床となっている現在の入管法上の収容制度や難民認定制度はそのままです。現行の法制度のもとで、多くの外国人のいのちが犠牲になっています。2021年3月に名古屋入管で亡くなったスリランカ人女性のウィシュマさんもその一人ですが、死亡原因など真相は未解明のままです。今後政府が、廃案となった入管法を一部修正し、再度国会に提出するのではないかとの懸念もぬぐえません。

本セミナーでは、ウィシュマさんの死を生み出した入管収容制度の実態、難民認定制度の課題など現行の法制度の問題点、廃案になった改定入管法案の危険性、そして今後、私たちがめざす真の「法改正」の方向について一緒に考えたいと思います。

「わたしたちは人間です!」という難民・移住者の叫びに、ともに耳を傾けましょう。

- 対象：関心ある方どなたでも Anyone interested is welcome.
日英同時通訳あり English translation available.

●司会：柳本 昭 神父 (J-CaRM 秘書) Fr. Yanagimoto

●開会挨拶 Welcome Remarks 山野内 倫昭 司教 (J-CaRM 担当司教) Bp. Mario Yamanouchi

●基調講演 Keynote 駒井 知会 弁護士 Ms. Chie Komai, Attorney at Law

●当事者からのアピール Appeals/Testimonies by refugee applicants/undocumented families

●質疑応答 Q&A ファシリテーター：山岸 素子 委員 facilitated by Ms. Motoko Yamagishi

●まとめ・閉会の祈り 松浦 悟郎 司教 (J-CaRM 委員長) Bp. Goro Matsuura

*録画し、教材として各地でセミナー等活用いただけるようにする予定です。The seminar will be recorded as info material.

お申し込みは、こちらのフォームから
締切：7月29日(木)

<https://forms.gle/ngXLHFcDK5HSmsJE8>
Register here QR コードからもフォームにとべます▶



主催・問い合わせ先：日本カトリック難民移住移動者委員会 (J-CaRM)

TEL：03-5632-4441 E-mail：jccarm@cbcj.catholic.jp URL：https://www.jccarm.com